

# 自主防災

## 第18号



### 第15回小松市自主防災大会

主催：小松市自主防災組織連絡協議会  
小松市  
共催：こまつ災害ボランティア連絡協議会

前列右から 矢田町自主防災会(優良団体表彰)、蓮代寺町防災団(優良団体表彰)、串町自主防災会(優良団体表彰)、宮橋 勝栄 小松市市長、二ツ梨町自主防災会(特別団体表彰)、前戸 敦夫氏(優良個人表彰)、村中 俊一氏(優良個人表彰)  
後列右から 矢田町自主防災会(表彰随行者)、蓮代寺町防災団(表彰随行者)、串町自主防災会(表彰随行者)、二ツ梨町自主防災会(表彰随行者)、橋浦 隆 連絡協議会会長



稚松自主防災組織 活動報告



池津 勝教氏 講演会

令和7年11月15日(土)、こまつドームにおいて、第15回小松市自主防災大会を開催しました。自主防災組織連絡協議会の会長をはじめ、連絡協議会の理事、防災士の方々、各町の自主防災会の代表者等合わせて約130名の参加をいただきました。表彰では、今年度、地域防災に貢献し、自主防災活動を積極的に実施された優秀な団体、個人に対し、特別表彰、優良表彰が授与されました。(上写真)表彰式後、稚松自主防災組織から、校下地区単位での防災の取組として防災マップの作成や校下防災訓練などの活動を発表していただきました。その後、気象予報士・気象キャスターの池津勝教様より、「昨今の気象変化や特徴、避難行動について」と題し、小松市における気象の特徴に触れ、昨今の気象状況における避難の判断材料となる気象情報・避難情報についてご講演いただきました。

## 第15回

## 小松市自主防災大会の開催

# ご挨拶

自主防災組織連絡協議会 会長 橋浦 隆



皆様におかれましては、日頃より地域防災に関わる様々な活動にご尽力いただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、昨年の災害を振り返りますと、8月に石川県加賀地方を中心に線状降水帯が発生し、金沢市を中心に建物の洪水・内水浸水被害や土砂災害も発生しております。また、今年に入って1月には県内各地で大雪に見舞われ、小松市においても大きな被害はありませんでしたが、「顕著な大雪に関する情報」が発表されるなど記録的な降雪がありました。

昨年5月に石川県が地震被害想定を27年ぶりに見直し、小松市においても被害想定が新たに示されることとなりました。市内の自主防災組織では、最新の想定を踏まえ、効果的な訓練や避難方法を考えることが求められます。

いつ起こるか分からない自然災害から地域住民の生命や財産を守るため、何が必要なのかを考えるとともに、自主防災組織連絡協議会と自主防災組織の皆様、防災関係機関の皆様との連携を密にし、災害被害の軽減に努めていきたいと考えております。

今後とも、皆様方の更なるご支援とご協力をお願いいたします。

# 災害に対する備え(安全・安心)と後継者の育成

小松防災士の会 会長 南 秀実



令和6年能登半島地震を受けて昨年5月に石川県で地震被害想定の見直しがありました。想定の見直しで小松市に最も影響が大きい断層は、「福井平野東縁断層帯で北に震源の場合」とされ、小松市内は震度5弱～震度7の揺れが想定されています。想定被害も大きく特に住宅被害が全半壊で約2万4千戸と今まで以上の地震に対する認識と対応が必要です。小松防災士の会では各地域の自主防災組織等での周知活動に力を入れておりますので声掛けください。地域間の情報共有も防災活動において非常に大切なことです。

今年度ある町の防災訓練に参加した際に感心させられたことがあります。それは子供の参加者が多く、また子供たちが積極的に質問をすることです。県内の大学生が実施した防災意識に関するアンケートでは、小学生が85%と関心度が高く、中学・高校と進むと65%程度に落ち込む結果となりました。防災士の会も高齢化が進み活動に制限がかかる人が増えてきています。次の世代に活動を紡いでいくには、子供たちや若年層の育成にかかっているように思えます。子供たちへの防災教育はこれからの活動の課題として準備が必要と感じています。

令和7年9月28日(日)

## 小松市総合防災訓練を実施

約400名参加

今年度の総合防災訓練は、串校下の住民約400名の参加をいただき、地震を想定した総合防災訓練を串小学校で開催いたしました。公開訓練では、自衛隊、警察、消防による合同救出訓練、串校下自主防災会による応急救護訓練、第8御幸分団による放水訓練が行われました。また石川県からは、起震車での地震体験、土のう作成・給水訓練などが行われました。避難所運営訓練としては、通信途絶を想定した衛星通信「スターリンク」の設置訓練、大規模停電を想定した「EV車」を活用した給電訓練が行われました。また、体育館でのテント・段ボールテント等の避難所資機材の体験、携帯トイレの実技指導など災害時の備えを考える良い機会となりました。



串校下自主防災会  
応急救護訓練



避難所用簡易パーテーション

## 荒屋校下防災訓練

約220名参加

10月19日(日)荒屋小学校にて荒屋校下5町内が参加し防災訓練が実施されました。校下の防災士や消防団員が中心となり実施され、訓練の内容では、AEDを用いた心肺蘇生訓練や応急手当訓練、消防団による放水訓練や建物倒壊を想定した救出訓練が行われました。また、体育館では小松防災エキスパートの高野氏による防災関係のパネルや防災グッズの展示が行われ子供から大人まで多くの町民の防災意識の向上が図られました。



荒屋校下防災訓練

## 稚松校下防災訓練

約280名参加

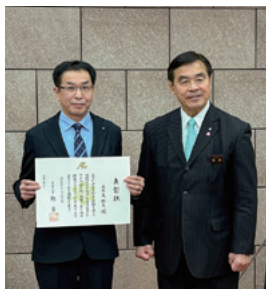
5月18日(日)丸内中学校にて稚松校下防災訓練が実施されました。稚松校下町内会連合会、第1稚松分団、稚松防災士の会が連携し、放水訓練や応急手当訓練などの災害を想定した訓練や災害食づくり、新聞紙で作る食器づくりなどの体験、プライベートテントや簡易トイレといった防災グッズの展示など様々な形で防災について学び、考えることができる良い訓練となりました。



稚松校下防災訓練

## 令和7年度 自主防災組織等 知事表彰

11月27日(木)石川県庁にて表彰式が行われ、五十嵐 郁夫様、北真人様が受賞されました。



五十嵐 郁夫 様



北真人 様



## 令和7年5月 石川県で地震の被害想定を見直し

今回の見直しにより地震の被害想定が大きく変わります。  
改めて、自宅の危険度や避難場所の確認し地震対策を考えていきましょう。

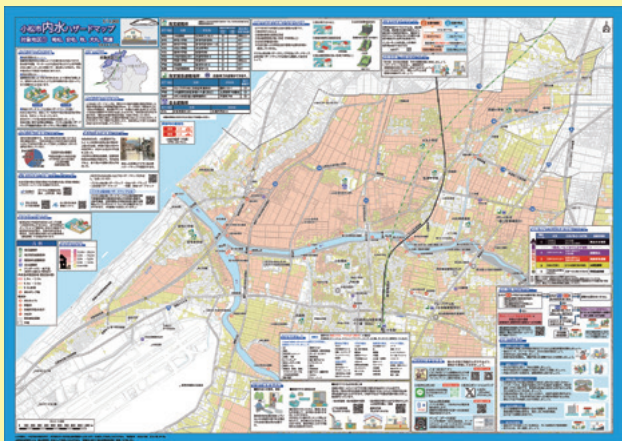


石川県HP  
(R7年5月地震被害想定)

小松市では令和8年度に地震ハザードマップを作成予定

## 地元の災害リスクを再確認しましょう

令和8年3月に新しく作成されました



小松市内水ハザードマップ

令和8年5月下旬に気象の警報などが大きく変更される予定です。いざという時に慌てないように事前に確認しておきましょう。また、お住まいの地域の災害リスクを各種ハザードマップでご確認いただき地域や個人の災害対策にご活用ください。



各種ハザードマップ



気象庁HP  
(新たな防災気象情報)



気象庁キキクル



小松市イメージキャラクター  
カブッキー

事務局より

広報「自主防災」に掲載する記事、写真等を募集しております。  
詳しくは事務局までご連絡ください。

小松市自主防災組織連絡協議会 事務局 危機管理課

TEL: 0761-24-8150 FAX: 0761-24-8153

E-mail: bousaianzen@city.komatsu.lg.jp

令和8年3月発行